

緊急増産2900万缶に

東日本大震災で
こんな用ポンベ

関西・九州でも品薄

東日本大震災の被災地へ
救援物資として、また関
東圏の品薄解消のため関係
各社が緊急増産に乗り出し
た。力セット・こんろ用ポンベ
は震災発生の3月11日以
降、4月下旬までに端境期
では異例の2900万缶前
後が新規生産される模様で
ある。うち韓国・中国から
の輸入品が1600万缶前
後を占めると観測される。

震災直後の週明け14日か
ら、関係各社に流通筋から
の注文電話が殺到。各社は
被災地の救援物資として出

荷を表明すると同時に、緊
急増産に乗り出した。年度
末で各社は在庫を絞つてい
る最中だったが、容器・パ
ルプ各社の協力もあり、比
較的早い段階で生産がスタ
ート、同時に平行的に輸入品

の手当にて着手した。3月
中旬段階では、計画停電の
実施で「バニック買い」が
発生した関東圏で品切れ店
が続出。品薄の解消から輸
入品を含め新規生産量は1
500万缶前後と観測され
ていた。ところが「バニッ
ク買い」が、関西・九州地

かりに震災がなければ、
関係各社は原材料高騰から
来シートン向け商談で値上
げを打ち出す意向であつ
た。原料ブタンの3月積み
薄になつたことから、各社
は追加増産に動いた。被災
地への救援物資としては4
月上旬現在、20万缶弱が送
られた模様である。

は延期せざるを得なくなつ
たが、供給過多が懸念され、
交渉の先行きは不透明で各
社複雑な表情である。関係
各筋の情報によると、各社
の緊急増産は輸入品を含め
岩谷産業1千万缶、日本瓦
斯・TT・S各100万缶、東邦
金属工業300万缶、クリーン
ウッド・東海・ニチネン計
200万缶と観測されている。
る。緊急事態で値上げ交渉